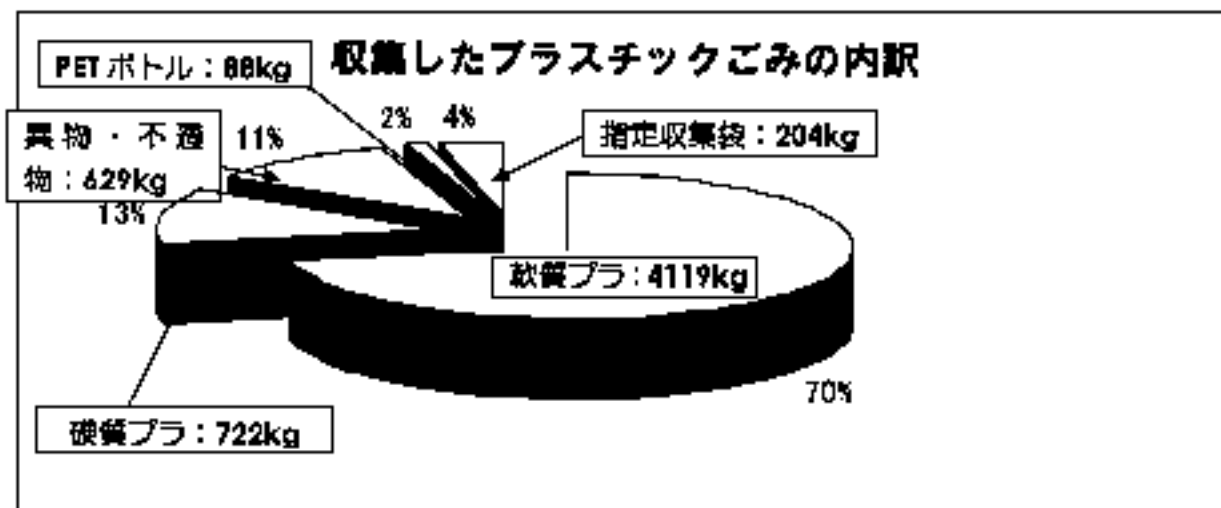


いします。



軟質プラスチックの圧縮実験

そして、もう一つの実験が本日行う圧縮実験です。この実験は、2007年に「町田市ごみゼロ市民会議」が提案した軟質のプラスチックを低圧で圧縮するという方法を踏襲したもので軟質プラスチックを低圧で圧縮すれば、有害なガスの発生がないのではないかという想定に基づくものです。

圧縮実験の内容は、次のとおりです。

- ① パッカー車内部の温度の測定 パッカー車にプラスチックを入れて圧縮した際に、プラスチックの温度に変化があるかを測定します（軟質のみと軟質+硬質の混合）
- ② 実験場での大気の採取
 - 1) 実験場境界付近の大気の採取（風上・風下） *6/13にも測定
 - 2) 圧縮機で圧縮中のプラスチック内部からの空気の採取（軟質のみと軟質+硬質の混合）

*①、②とも分析は、分析専門機関で行います。

- ③ 密閉容器内での圧縮実験（分析専門機関で実施）

④分析項目

1 ベンゼン	11 キシレン	21 フタル酸ジ-n-ブチル
2 トリクロロエチレン	12 エチルベンゼン	22 フタル酸ジシクロヘキシル
3 テトラクロロエチレン	13 スチレン	23 フタル酸ジエチル
4 ジクロロメタン	14 ホルムアルデヒド	24 アジピン酸ジ-n-ヘキシル
5 クロロホルム	15 アセトアルデヒド	25 ビスフェノールA
6 1,2-ジクロロエタン	16 酸化エチレン	26 ノニルフェノール
7 アクリロニトリル	17 トリレンジイソシアネート	27 4-tert-オクチルフェノール
8 塩化ビニルモノマー	18 ベンゾ[a]ピレン	28 シアン
9 1,3-ブタジエン	19 フタル酸ジ-n-ヘキシル	29 揮発性有機化合物
10 トルエン	20 フタル酸ブチルベンジル	30 水銀

廃棄物減量等推進審議会へのフィードバック

実験の結果は、後日公表します。また、圧縮実験の結果と分別に参加された方のアンケートの集計結果を廃棄物減量等推進審議会で議論し、一般廃棄物資源化基本計画の策定に反映していきます。一般廃棄物資源化基本計画は、2010年末に答申の予定です。